



お家お社の看板娘

遠藤 玲子 さん

越谷保育専門学校を去年4月に卒業し、小学生時代の「祖母さんになる」夢を実現させた遠藤さんは米沢市の出身。

——八潮は適度に緑や田んぼがあって、米沢に似ています。でも8月5日の水害にはびっくりしちった。

ちょうど旅行に行く日で、前の晩仕度をしていたら、ポコポコって水の音がしたのね。朝起きると近所の人が騒いでいる。何かと思ったらいち面水だらけ。旅行用に買った長いスカートは着られないし、汚れてもいいクツをはいてったの。もうさんざんでした。

S 39.4.21生、おうし座、A型
八潮保育園勤務 西袋在住

——旅行？あこがれの沖縄。海がとってもきれいだった。潜れないんだけど、シュノーケル付けて魚と遊んできた。

——受け持ちのクラスは3歳児14人。みんな活発で、けんかもしょっちゅう。でもとっ組み合いはさせません。教室が広くて毎日が運動会みたいです。

——趣味で編み物をやっていますが、作るのは自分の物ばかり。高校の時、クラリネットを吹いていましたが、もうしばらくやってないな。肺活量も減ったみたい。

「八潮に四中コーラス部あり」と実力の程を自認しているのがこのグループ。早速、四中音楽室に練習中の皆さんを訪ねました。

さわやかグループ

がんばる
母さんたち

第四中
PTAコーラス

代表
湯浅 厚子 さん
(伊草団地)



練習は毎週火曜日午後5時半から

やはりさみしい。去年まで在籍していた貴重な男性ボーカルは「ついでにいけない」とギブ・アップしたとか。「好きな人たちなので、すごく熱心なんです」との指導の星野先生（男性）の言葉にその訳がありそう。夕方七時までの練習が三十分長引くこともしばしばだそうです。

現在部員は三十名。三年前に同学年の会員で始めたものが、全校に広がった。「とても楽しいし、友だちも増えました」と部員の方。

十月の市民音楽祭には「張り合いと緊張感」を求め「おひばり」など三曲を舞台で歌う。子供たちはそんな親をしつかりと見ている。



講師の石井岱三さん

「家族とお年寄りのあり方」

ボランティアが講演会

高齢化社会に向けて独自の活動をしている八潮市ボランティアグループ連絡会（原賢次代表）は九月七日八幡公民館に特別養護老人ホーム「名栗園」園長石井岱三さんを招き、「家族とお年寄りのあり方」と題する講演会を開きました。

この講演会は同連絡会が昨年から行っているもので、代表の原さんは「避けて通れない高齢者問題なのに、まだまだ私たちは直視できていないのでは」と会を開いた理由を説明。講師の石井さんは、老人が食事と運動によって体力をつけることの大切さを強調すると共に、信頼で結ばれた家庭や地域社会の中でこそ老人福祉が実現できるなどと、「老人処理」が進む現代社会をチクリと批判。

参加者三十名のおよそ半数が老人問題を現実のこととしてとらえている老人であったとは、問題がより深刻であるということなのかも。

区画整理 しゅん功

新 八潮一丁目、
八潮八丁目



昭和四十九年一月に認可を受け、

公園間には三百四十メートルの太原緑道（写真）がある。

十二年間に渡って事業を進めてきた八潮第二土地区画整理事業（八潮市施行）が十月四日に換地処分を終え、地区内の旧大原や中馬場などの地名は新しく八潮一丁目から八潮八丁目までに改名されました。